

0507 2017 Release

NEW ALBUM "SAY"



“SAY”をもっと
知るために。

声にならない想いが、聞こえますか？エバラ健太が裸の心で描き出した10の物語。

シンガーソングライター、サウンドクリエイターとしての魅力を存分に堪能できるエバラ健太の真骨頂。完成したばかりのプライベートスタジオで録音した、全10曲収録の完全オリジナルアルバム。

01. Say

誰かに何かを伝えたい時、本当に伝えたいことと丸っきり反対のことを口に出してしまったり、喋っても喋っても一番届けたいはずの言葉だけが言えなかったり。そんな矛盾みたいなもどかしさについて書きました。そして結果的にそれがこのアルバムの大きなコンセプトになり、そのタイトルにもなりました。エンディングの“Say the word”というフレーズは、勇気を持ちたい自分から、勇気を出して欲しい自分への呼びかけです。

02. 言えない

自分自身の気持ちに気付いた時、言うこと、言わないこと、そのどちらも勇気が必要なことだと思います。口下手な僕なりのラブソングです。この曲ではとっても大好きなピアノ

ストのたまちゃんこと広田圭美さんに弾いてもらいました。ところで1曲目が“Say”（言う）で、2曲目が“言えない”。難しく考えて頂けないと、おちょこちよいな曲順に見えてしまいます（笑）

03. Fragrance

僕は年がら年中鼻がズズーしているくせに匂いに割と敏感で、記憶と匂いがかなりの強さでリンクしていることが多いんです。幼稚園の隣のクラスの先生の匂い、プールの仲間にくらったにぎりっぺ！英語の先生の部屋の古い本の匂い。いつでも記憶を呼び戻せる菜みtainな匂いを歌にしました。”Kidnap Lover”、“Doctor Doctor”系統の、ループ曲になっています。



撮影とデザイン

写真：吉澤健太さんに撮影して頂きました。世界中あちこちの撮影の合間、パチッと撮って頂きました。

デザイン：糸山泉さんにデザインして頂きました。ストーリーを感じるブックレット、じっくり見てほしいです！

SAY THE WORD

エバラ健太本人による全曲解説。

04. Born to Fight

友達の格闘家、原田ヨシキ選手のために書き下ろし、入場曲として使ってもらっている曲です。総合格闘技からキックボクシングへ、戦場が変わっても変わらないヨシちゃんの闘う心の背中をちょっとだけでも押せたらと思い書きました。彼の師匠、桜井”マッハ”速人選手の野性的な強さを連想したくて、”マッハ”という言葉を使わせてもらいました。

05. 珈琲Beat

曲を書いたりアレンジ作業をしたりする時期、家から一歩も出ないことはザラで、唯一の気分転換はキッチンで豆をズリズリ挽いて、お湯をたらしてコーヒーを淹れること。ミルに入ったコーヒー豆をシェイカーみたいに振っていたら降ってきた曲です。間奏で聴こえるのは、バンジョーではなく、ガンジョー(Ganjo)。ギターとバンジョーが合体した楽器です。豆はすっぱくない系が好きです。

06. 多摩川

何度目かの引越しを去年して、川の近くに住み始めました。無理やり作った休みの日や、急にパソコンと空いた夕方に、チャリンコを漕いで川の近くまで行くのが僕の息抜きになりました。これまで商店街のど真ん中や賑やかな

街に住むことが多かったので、ぼうっと出来る場所が家の近くにあることも幸せなんだと知りました。そんな時通っていた電車を眺めていて書いた曲です。

07. Ever After

わざわざ言わなくてもわかる、言葉にしなくても伝わり合える間柄って、誰しもにあるものだと思います。でも、”わざわざ言わなくてもわかるから”って思ってるうちに恥ずかしくなって”今更言わない”になっていることも多いですよ。昨日今日出会ったわけじゃに二人に送る、僕なりのラブソングです。Cメロ部分は、歌入れの時まで悩みに悩み、そこだけ白紙で進めたのですが、いざCメロパートにきたら突然思いつき、そのまま歌いました。

08. 愛すること

板橋の実家で父と昭和2年生まれのおばあちゃんが一緒に暮らしています。わがままをすることやそれを聞いてあげること。それを聞いてあげられること。そして長い間、一緒に歳をとっていくこと。その全部が誰かを愛することなんだと、二人を見て感じました。少しずつ忘れてくことも、全部覚えてくことも。



雨が続く中、撮影の日だけ晴れました。

09. Photo Stand

壁に寄りかかるひとつのフォトスタンドを見つめている、部屋の片隅の小さな小さな物語です。頭の中を駆け巡る思い出を、少しずつ変化していくギターのアルペジオで表現してみました。ショートフィルムのような短い曲が好きで、いつか短い曲だけをたくさん集めたアルバムも作ってみたいです。

10. Brown Eyes

何年も前に書いて、アレンジして録音しては消して、アレンジし直して録音し直しては消して...テーマ的にも曲調的にも収録出来ずにいた曲だったのですが、ようやく収めることが出来ました。初めて英詞で書いたこの曲と”Photo Stand”は、親友のアーティストKen Tylaにアドバイスをもらいながら書き上げました。

(2017年5月1日 エバラ健太)

ライブスケジュール

5/5(金) 名古屋

Art & MusicSpace 源

5/6(土) 徳島

寅家

5/7(日) 東京

cafe/field

6/16(金) 大阪

ホテルオークス

6/17(土) 神戸

LOCOYA

6/18(日) 富山

まだまだ増えます。

